

報道各位

FAX送信枚数 3枚(この用紙を含む)

「第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦」の試合結果をお知らせいたします。  
 報道をよろしく願います。

【本件に関するお問合せ先】		
第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦		
実行委員長 石野 雄三		
TEL・FAX	親里ホッケー場	椋野ホッケー場
携帯 080-6734-8842	TEL/FAX:0743-67-0247	TEL/FAX:075-721-1135

第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦

第 3 日

開催日時 7 月 2 日 ( 土 ) 会場 親里ホッケー場 天候 曇り時々晴れ

【試合結果】

<女子>

第1試合 10:00	立命館大学	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	天理大学
第2試合 11:40	山梨学院大学	3	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	東海学院大学
<男子>					
第3試合 13:20	天理大学	3	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 2 \end{pmatrix}$	2	立命館大学
第4試合 15:00	朝日大学	2	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$	2	山梨学院大学
	〇〇〇×〇	4	PS	3	〇〇〇××

【試合の結果・詳細】

第1試合

立命館大学 1  $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$  0 天理大学

得点	立命館大学→7分瀧上		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第3日 天理大学 対 立命館大学 の試合。夏の日差しの下、立命館大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも一歩も譲らない攻防を繰り広げるが、ゴール前での両チームの粘りの守りによりなかなか点数をもぎとることができない。しかし立命館大学が前半7分4番瀧上がPCを確実にきめ1-0と先制する。その後は天理大学も追いかけるが後一歩が届かず、前半が終わる。後半は天理大学のセンターパスで開始した。両者ともサークル内まではパスをつなぎ侵入するがサークルに入るできない。立命館大学は個人のドリブルで天理大学は強いストロークによりチャンスを作るが決めきれず時間が流れる。天理は1点を追いかけるが66分2番西田がイエローをもらい数的に不利になる。そして立命館大学が1点を守り抜き決勝へと進むことになった。		
テクニカルオフィサー	小西 典子	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	長田 和雄		谷川 昌子

第2試合

山梨学院大学 3  $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$  1 東海学院大学

得点	山梨学院→20分田中、42分三橋、53分中畝地 東海学院→11分大橋		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第3日 東海学院大学 対 山梨学院大学 の試合。曇り空の下、立命館大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チーム激しい攻防を繰り広げる。山梨学院大学は5番永山を中心にゲームを組み立てる。対する東海学院大学は3番今野を中心としたDF陣が粘り強い守備を見せる。11分東海学院大学がPCを取得し13番大橋が先制点を決める。その後山梨学院大学は18分PCを取得するが決めきれない。しかし、給水タイムを挟み20分山梨学院大学はPCを取得し10番が押しこみ1-1の同点とする。後半は東海学院大学のセンターパスにより開始される。41分山梨学院大学7番三橋が得点し逆転する。その後も山梨学院大学のペースで試合が進む。52分山梨学院大学がPCを取得し6番がダメ押し3点目を決め、3-1となりそのまま試合は終了した。		
テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	石橋 徹也
ジャッジ	松下 正寿		壽山 由樹

第3試合

天理大学 3  $\left( \begin{array}{cc} 1 & - 0 \\ 2 & - 2 \end{array} \right)$  2 立命館大学

得点	天理→4分伊藤、58分下市、59分三谷 立命館→47分金子、68分伊藤		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第3日 立命館大学 対 天理大学 の試合。本日二試合目の曇り空からうって変わって、夏の日差しの下、立命館大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チーム激しい攻防を繰り広げる。4分天理大学15番吉原のドリブル突破からパスを受けた7番伊藤が落ち着いてヒットシュートを決め先制する。その後、24分立命館大学9番藤吉が攻め込みシュートを放つが、GKにセーブされる。32分天理大学3番下市からのロングパスをサークル内で6番三谷が受けるがシュートは決まらない。後半は天理大学のセンターパスで始まる。12分立命館大学8番金子がPCのこぼれ球を押し込み同点となる。23分には天理大学3番下市がPCから得点しリードする。24分天理大学6番三谷がPSを落ち着いて決め3-1とリードする。33分立命館大学5番伊藤がPSを決め、1点差とするが終了のホーンが鳴り3-2で天理大学の勝利となった。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	長田 和雄 小西 典子	アンパイア	中本 大輔 児玉 茂樹

第4試合

朝日大学 2  $\left( \begin{array}{cc} 2 & - 0 \\ 0 & - 2 \end{array} \right)$  2 山梨学院大学  
1 〇 2 〇 3 〇 < 5 〇 ( 4-PS-3 ) 1 〇 2 〇 3 〇 4 × 5 ×

得点	朝日→2分藤原、8分木佐貴 PS小池 平光 竹中 森海斗 山梨学院→47分塩川、49分西川 PS西川 北里 原田		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第3日 山梨学院大学 対 朝日大学 の試合。本日二試合目の曇り空からうって変わって、夏の日差しの下、山梨大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チーム激しい攻防を繰り広げる。2分朝日大学がPCを取得し2番藤原が決め、先制する。その後5分に山梨学院大もPCを取得しチャンスを得るが、決めきれない。8分には朝日大学29番木佐貴がPCを決め2-0とした。このまま前半はお互い激しいチェックの中前半を終える。後半は朝日大学のセンターパスから始まりました。山梨学院はラインをあげ攻めた結果47分山梨学院2番塩川がFGを決める。5流れが変わり49分山梨学院大学6番西川がPCをきっちり決めて2-2と同点とする。そのまま試合はPSとなる。最後PSがお互い一回ずつはずして最後朝日のGK山崎が止め7番森が決め山梨学院が決勝進出となった。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	松下 正寿 今庄 亮世	アンパイア	近藤 聡史 小原 直也